

ブーメラン

厚紙で3枚、羽根を組み合わせて作ります。
手元にうまく戻ってくるかなあ。

長野市教育委員会生涯学習課
長野市子ども会成人指導者の会

1. 用意するもの。

材料

厚紙(板目表紙・厚さ 0.7mm位)、セロハンテープ、ビニールテープ

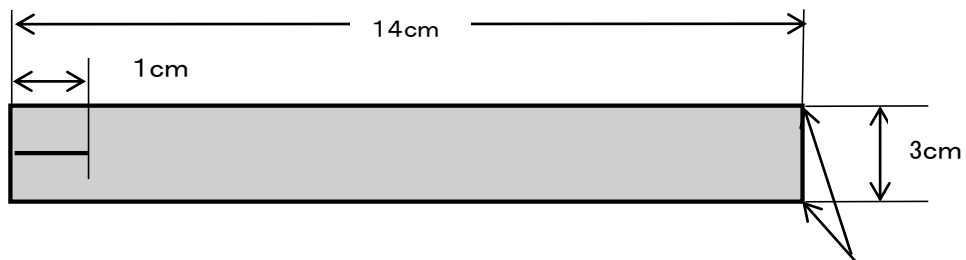
用具

ホチキス、はさみ、ものさし、えんぴつ、油性マジック、角度用紙、古新聞

2. 作り方

1) 厚紙3cm×14cmに切ったものを3枚用意する。

2) 3枚とも幅の中心に1cmの切れ目を入れる。

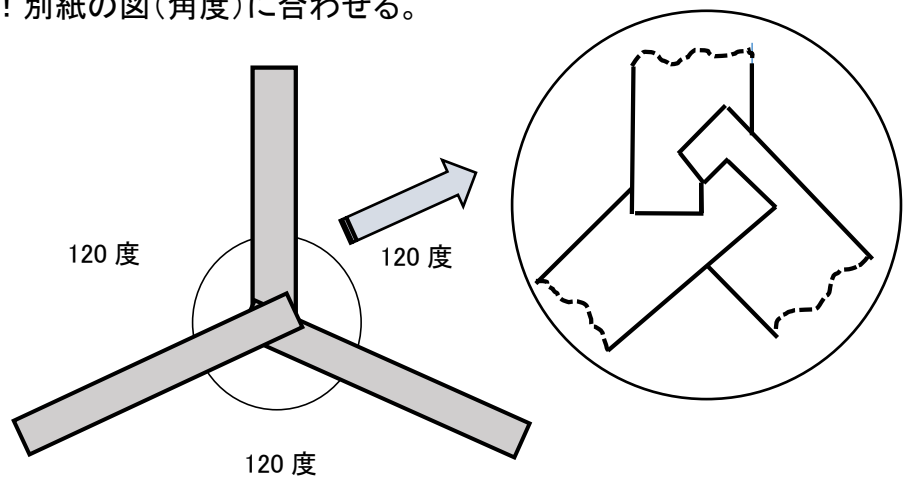


3. 3枚目の切れ目を組み合わせてホチキスで止める。

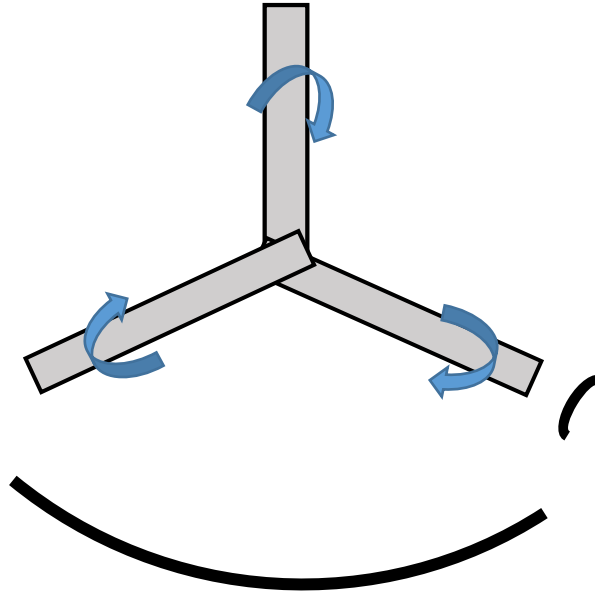
先端2mm位、角をとる。

この時、角度が重要！別紙の図(角度)に合わせる。

(けが防止のため)



4. マジックインクなどで羽根^{はね}に色をぬる。
5. 右投げ^{みぎな}の人は、正面^{しょうめん}から見て右側^{みぎがわ}が少し上がるように3枚の羽根をねじる。
- 左投げ^{ひだりな}の人は逆^{ぎやく}にねじる。



6. 中心部^{ちゅうしんぶ}から上向き^{うわむ}に3枚の羽根を少しそらせる。
7. 空気^{くうき}の抵抗^{ていこう}を小さくするために羽根を少し「わん曲^{きよく}」させる。

ポイント！

- ブーメランが戻^{もど}ってこない時は『ねじれ』と『そり^{ちようせい}』を調整する。
『ねじれ』^{かいてん}回転して飛^とんでくる円^{えん}の大きさを変えることができる。
高く飛^とぶ場合は、少し『そり^{ばあい}』を小さくすること。
『ねじれ』も『そり』も、つけすぎないこと！
- 羽根の先端をつまみ、回転がつくようにスナップをきかせて投げる。
- わん曲になった表側を顔に向け、地面に直角に立てて、前方に左回しに投げる。
- 良く飛ぶようになったら羽根の先にビニールテープを数回巻く(回転力がつく)